

Honda SENSING Eliteの作動状況や走行状態を的確に伝え、必要時にはシステムからの操作要求に確実な対応を促すインターフェイス。

Honda SENSING Elite 搭載車のドライバーは、システムからの操作要求があった場合にすぐに対応する必要があります。そこで、システムの作動状況や

走行状態、システムからの操作要求をわかりやすく伝える、瞬間認知性に優れたシンプルなインターフェイスを開発しました。

■ Honda SENSING Elite 表示灯

ステアリング、ナビ画面(オーディオ/インフォメーション画面)上部、グローブボックスに表示灯を装備。メーター内表示や通知音とともに、作動状況や走行状態、システムからの操作要求をわかりやすく伝えます。



Honda SENSING Elite 表示灯 配置例

■ わかりやすいキーカラーの採用

表示灯には、瞬間認知性に優れたキーカラーを採用します。例えば、色相環上で反対に位置づけられ(補色関係)、お互いを鮮明に浮かび上がらせる効果があるブルーとオレンジなどです。



■ 周辺状況をわかりやすく伝える、大型フル液晶グラフィックディスプレイ採用のメーターパネル

Honda SENSING Elite搭載車は、メーターパネルに12.3インチなど大型のフル液晶グラフィックディスプレイを採用。優れた表現力を活用しながら、情報量を必要十分に抑えたシンプルな表現とすることで、高い瞬間認知性を提供します。メーター中央では、走行レーンや自車、検知した他の車両をリアルに表現。メーター内インジケータは、アダプティブクルーズコントロール(ACC)および車線維持支援システム(LKAS)による運転支援走行時(ハンズオフ不可)にはグリーン、ハンズオフ機能付車線内運転機能やトラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)による走行時にはブルーで点灯させるなど、システム作動状況が瞬間的に認知できる表現としました。



アダプティブクルーズコントロール(ACC)と車線維持支援システム(LKAS)作動時の表示例



ハンズオフ機能付車線内運転支援機能作動時の表示例



トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)作動時の表示例